

あいち防災フェスタにブース出展

～自然災害への備えの重要性や災害便乗商法への注意を呼びかけ～

日本損害保険協会中部支部（委員長：渡辺一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員）は、11 月 9 日（日）に愛知県豊川市のイオンモール豊川で開催されたあいち防災フェスタにブースを出展しました。

愛知県では、平成 19 年度から毎年「あいち防災フェスタ」を開催しています。

このイベントは、南海トラフ地震の発生が危惧される中、県民、自主防災組織、地域団体、企業、NPO、及びボランティア等が連携を深め、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の形成を推進することが必要であることから、広く県民に防災協働社会の必要性を訴えとともに、防災知識の普及、県民の防災意識の高揚、家庭における災害対策の促進及び防災ボランティア活動への理解の促進を図ることを目的としています。

今年度は、イオンモール豊川のご協力のもと、東三河で初めて開催され、ペット防災に関するイベント「ペット防災マルシェ」も同時開催されました。

当日は時より強い雨と風が吹くあいにくの天気でしたが、当協会のブースでは、名古屋大学名誉教授の福和伸夫先生監修で、山沿いの家や、海沿いの家などが地震の際に遭遇する可能性のある事象を絵にして分かりやすく解説した「減災絵巻」を展示したほか、来場者に防災や地震保険に関するクイズに挑戦してもらいました。こども向けクイズではお父さんお母さんがヒントを出しながらお子さんが答えるなど、ご家族で楽しんで防災について学んでいただくことができました。一緒にクイズを楽しみながら、地震が起こった時にどうしたら良いかや事前の準備としての地震保険の重要性を説明しました。併せて、最近増加している災害に便乗した悪質な住宅修理業者の被害に遭わないように注意喚起も行いました。

当支部では、自然災害への防災力を高めるため、悪質な災害便乗商法の被害者を減らすために、今後も積極的な情報提供を行ってまいります。



＜減災絵巻を見ながら地震に対する備えを確認する人＞



＜ぼうさいクイズに挑戦する親子＞